



食欲の秋、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋、行楽の秋など、秋と結びつく言葉はたくさんありますよね。皆様にとっての秋は何でしょうか？ 那須の秋といえば紅葉！ 紅葉の名所がたくさんあります。今回私が訪れたのは、スキー場のマウントジーンズ那須です。山頂は雪がちらついて寒かったですが、ゴンドラから眺める紅葉は絶景で癒されました。また、ちょっとしたアクティビティもあり、スラックラインに挑戦してみました。

スラックラインとはベルト状のラインの上を歩いたり飛んだりする綱渡りスポーツのことです。まず歩くことが出来ません。完全に腰が引けてガクガクブルブル、日頃の運動不足を痛感しました。自粛が続いていたせいか、体が余計になまっています。羽目を外し過ぎず気をつけたいですね。特に寒く乾燥した冬こそウイルス本番です。皆様も油断せず、どうぞご自愛くださいませ。サンプラ社員一同、元気に年末まで一気に駆け抜けていきます。今号もよろしくお願いいたします。

代表取締役 **大江正孝**

<<弊社の取り組み>>

サンプラスチック(株)では、“ぶららさん・健康チャレンジ”と銘打って、社員に健康に対する意識喚起を行う取組をしています。

ぶららさん 健康チャレンジ

サンプラスチック株式会社

1 ぶららさん 健康チャレンジ その①

9 ぶららさん 健康チャレンジ その⑨

18 ぶららさん 健康チャレンジ その⑮

【健康】の定義
健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。
1947年採択 WHO憲章(日本WHO協会訳)

1 ぶららさん 健康チャレンジ その①
片立ちチャレンジ
片立ちチャレンジとは、片足立ちの状態で、両手を広げて、30秒間立っていることです。これは、バランス感覚を鍛えるのに効果的です。

9 ぶららさん 健康チャレンジ その⑨
水分ちゃんと摂って！
水分をしっかりと摂ることが、健康維持に重要です。脱水症状を防ぐため、こまめに水分を摂りましょう。

18 ぶららさん 健康チャレンジ その⑮
デジタルデトックス
デジタルデトックスとは、スマートフォンやパソコンを一定期間使わないことです。これにより、目の疲れやストレスを軽減できます。

あなたは今、『健康』ですか???

これまでの取組・喚起！！

- ①片立ちチャレンジ
- ②肩甲骨の可動域チェック
- ③脳トレやってみよう！

- ④前屈チャレンジ
- ⑤定期的にやってみよう！メンタルチェック
- ⑥しっかり噛んでご飯を食べましょう!!!
- ⑦深呼吸をしてみましょう！
- ⑧眼精疲労になっていませんか！？
- ⑨水分ちゃんと摂っていますか？
- ⑩【怪我】に注意しましょう！
- ⑪今週は、いよいよ健康診断です！
- ⑫脱・三日坊主。健康は習慣が大事★

- ⑬『デジタルデトックス』をやってみよう！
- ⑭「菌」と仲良くなりましょう★
- ⑮◆自分の身体の声聞いて、記録を残す癖をつけましょう。
- ⑯骨盤は正しい位置にありますか？骨盤チェック
- ⑰寒さが及ぼす身体への影響。
- ⑱自分のストレスを知ろう！

まだまだ、継続中です！！！！



SUNSHINEGARDEN

〜〜 社員の癒しスポット 〜



夏の間、元気に緑をみせてくれた花壇の草花も、秋になりだんだんと装いが秋らしくなっています。

今年の夏、こんなものを作ってみました

Q.みなさん、何だかわかりますか？

知らずに食べた社員は、..... 大変でした

そうです、“ハバネロ”です。



SunShineGardenでは、色々な野菜や果物の栽培にもトライしています！

〜〜 バイオマスプラスチックについて 〜



①バイオマスプラスチックとは

バイオマスを原料としたプラスチックと、生分解性をもつプラスチックの総称。

再生可能なバイオマス資源を原料に、化学的または生物学的に合成することで得られるプラスチック。それを焼却処分した場合でも、バイオマスのもつカーボンニュートラル性から、大気中のCO2の濃度を上昇させないという特徴がある。これにより、地球温暖化の防止や化石資源への依存度低減にも貢献することが期待される。

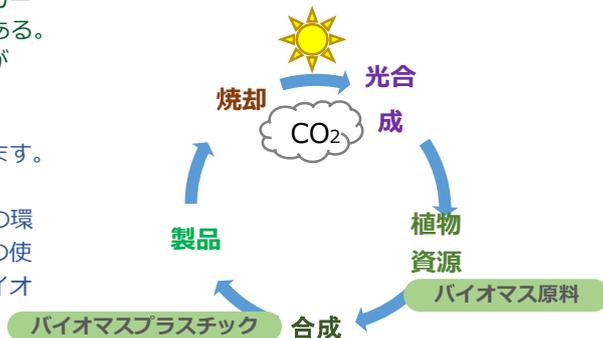
プラスチックは、現代の私たちの生活には無くてはならないものとなっています。そのプラスチックが、地球環境に対して負荷が大きいのも事実です。パリ協定以降、CO2排出による地球温暖化問題に伴って、現出している多くの環境に負荷のかかるものを抑制し、合わせて枯渇の危険性が叫ばれる化石資源の使用縮減を進めるために、バイオ技術を有効に活用し、再生可能資源であるバイオマスの活用を業界を上げて進めている状況です

②バイオマスプラスチックの定義

「原料として再生可能な有機資源由来の物質を含み、化学的又は生物学的に合成することにより得られる高分子材料。」

※化学的に未修飾な天然有機高分子材料は除く

日本バイオプラスチック協会 (JBPA) より



社員インタビュー



答えてくれたのは、製袋加工の「〇〇〇〇」さんです

- ①入社何年目ですか？
3年目です。
- ②現在の仕事内容は？
製袋加工を行っています
- ③仕事の面白い部分、難しい部分は？
製品が仕上がっていく過程が面白さでもあり難しさでもあります。
- ④仕事のやりがいは？
製品を作り終えた時の達成感です。
- ⑤入社してから成長したと感じる部分は？
型変えが一人で出来る様になったことです。
- ⑥会社の好きなおところはどこですか？
明るく、おもしろい人が多いことです。
- ⑦職場の雰囲気は？
不明な点はすぐに聞けて雰囲気はとても良いと思います。
- ⑧仕事をする上で大切にしている事は？
慌てず、一つ一つ確認、チェックすることです。
- ⑨仕事で一番うれしかったことは？
社員になれたことです。
- ⑩仕事で一番大変だったことは？
機械の調整がうまくいかなかった時。
- ⑪今後身につけたいスキルはなんですか？
作業中の不具合に、すぐ対応出来るスキルを身につけたいです。
- ⑫これから挑戦してみたい仕事は何ですか？
まだ、作業していない機械に挑戦したいです。
- ⑬プライベートはどのように過ごしていますか？
家族と楽しく過ごしています。
- ⑭個人として大切にしている考え方はありますか？
何事にも感謝の気持ちをもつことです。
- ⑮今後チャレンジしたいことは？
いろんな事にチャレンジしていきたいです。



これからチャレンジ精神を忘れずに！

私たち、栃木工場がある町にはこんなものがあります。 シリーズ 22

〜〜 深山ダムと沼っ原湿原 〜



深山ダム（湖）は、国営那須野原開拓建設事業の一環として那珂川上流に建設された農業・上水道・発電用の多目的ダムで、昭和48（1973）年に完成しました。高さ75.5メートル、堤の高さ333.8メートルにロックフィルダムで、これによってできた深山湖の総貯水量は2,580万トンになります。沼原発電所で発電に使う水はここから揚水されています。

沼原発電所は世界有数の揚水式発電所で、深山湖を下池、標高1,200メートルの沼原調整池を上池として、その落差517メートルを利用した発電を行っています。最大出力は67万5,000キロワット。発電所は地中であって普段見ることができませんが、発電所入口奥にある展示館「森の発電おはなし館」でそのしくみを知ることができます。

また、ダム（湖）の周辺は豊かな自然にあふれ、新緑や深緑、紅葉など四季折々の景色を大パノラマで楽しむことができます。特に、山頂部から裾野にかけて染まる“三段染め”と呼ばれる紅葉のグラデーションは見事な眺めです。

那須塩原市公式HPより

編集後記

緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置の発令もない状態は、一年半ぶりになります。新規感染者も減少傾向にあり、日に日に制限も解除され、以前の日常を取り戻しつつあります。コロナ渦だった2021年も残り約1ヶ月、皆さま、くれぐれもご自愛下さいませ。

発行日：令和3年11月15日
発行：サンプラスチック株式会社
編集：サンプラNews係

次回冬号は2月中旬発行予定です。